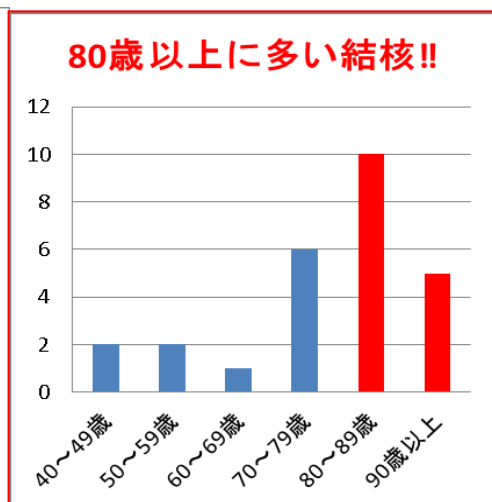
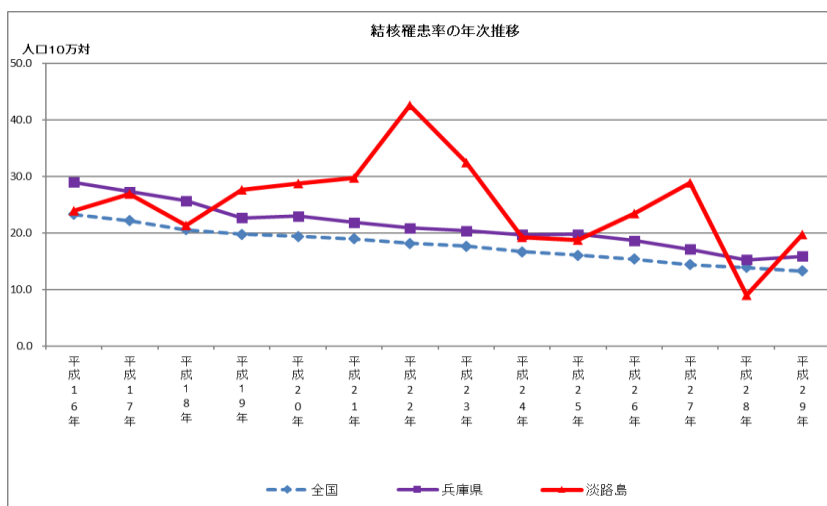


結核通信

【平成30年12月発行】
洲本健康福祉事務所(保健所)
健康管理課
☎ 0799-26-2062 FAX 0799-22-3345
※ 保健所は結核相談の窓口です

結核は今でも日本の重大な感染症！！

現在、日本では年間約2万人の方が新たに結核を発症し、2千人近くの方が命を落としています。淡路島では、平成28年に12人、平成29年に26人の方が新しく結核患者として届出されています。このうち60歳以上が約8割以上を占めており、特に80歳以上の割合が高くなっています。



平成29年 年代別新規届け出患者数

高齢者の結核が増えている！！

現在の高齢患者の多くは、かつて結核が蔓延していた時代に感染した方々であると言われています。加齢により免疫機能や体力が低下し、体の中で眠っていた結核菌が活動・増殖を始めることで発病しています。



特に、以下のような発病リスクを抱えている方は要注意！

- 糖尿病の人
- ステロイド剤や抗ガン剤による治療を受けている人
- 腎不全等の腎臓病の人
- 手術後や高齢により体力が低下した人
- 不規則な生活、ストレス状態の人

結核ってどんな病気？どうやってうつるの？



結核は咳やくしゃみに含まれた**結核菌**を吸い込むことで感染します。空気中に飛び出た結核菌は2時間程度浮遊している可能性があります。↑**結核菌**

ただし、一度壁や床等に着いたら再度浮遊することはありません。空気感染なので、衣服や食器・布団などの消毒は不要です。また、**感染とは結核菌が身体の中で定着・増殖すること、発病は感染するだけでなく咳などの症状が現れている状態です**。多くの場合、結核菌に感染しても免疫機能に抑え込まれ発病することなく一生を過ごすことができます。感染者のうち、発病するのは1～2割程度とされています。

結核になるとどんな症状が出るの？



微熱



咳・たん



だるさ



食欲不振・やせ

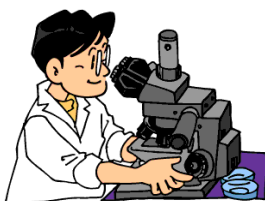
※ このような症状が2週間以上続いたら、必ず医療機関を受診しましょう。

高齢者は症状が出にくく、結核が見落とされることもあります。

体調がいつもと違い、元気がない場合は、必ずかかりつけ医の診察の上、下記の検査を受けて下さい。

結核の発病を確認するためには？

結核は、忘れた頃に、いつの間にか進行していく病気です。年一回は**胸部エックス線検査（肺がん検診等）**、必要に応じて**喀痰検査**を受けましょう。結核は早期に発見すれば周囲への感染を予防でき、外来での治療も可能です。



* 結核の確定診断は、喀痰検査等で結核菌を見つけることです。
(喀痰検査には塗抹検査、培養検査、遺伝子検査があります)